

小論文の傾向と対策

方式 日程	学部学科	出題内容
指定校 推薦	学芸学部 国文学科	1. または2. の問いに答えなさい。 1. 新聞やメディアで見かけた気になる言葉づかいについて、具体的な例をあげて考えを述べなさい。 2. 小説の面白さとは何だと考えますか、自分なりの条件をあげて考えを述べなさい。 (800字程度)
	学芸学部 国際英語学科	普段の生活の中で「日本語」が通じにくい外国籍定住者から何か助けを求められたら、どのようなことをするでしょうか。具体的な場面を想像(設定)して、あなたの考えを理由とともに述べてください。 (1,000字程度)
	学芸学部 心理学科	「劣等感」は、人にやる気を失わせることもあれば、反対にやる気を高めることにもつながる、と言われます。その違いを生む要因(どのようにしてその違いが生じるか)について、800~1,000字程度で述べなさい。
	学芸学部 ライフプランニング学科	新型コロナウイルス感染症拡大が少子化に追い打ちをかける状況となっている。別紙の新聞記事「少子化にコロナ禍」(朝日新聞2021/6/5朝刊2頁)を読み、以下の問いについて800字~1,000字程度でまとめなさい。 (注釈) ・非正規雇用:パートタイマー、アルバイト、契約・派遣社員など正規雇用以外の雇用のこと。 <問い> ・新型コロナウイルス感染症の拡大が、少子化に対してどのように影響をおよぼしているのかをまとめなさい。 ・新型コロナウイルス感染症と少子化についてあなた自身の意見を書きなさい。
	学芸学部 化粧ファッション学科	「よそおい(ファッション・メイク・ヘア)とジェンダーレス」をテーマとして、あなたの考えを具体例を示しながら800字程度で述べなさい。
	児童教育学部 児童教育学科	子どもを育てていく中で家庭との連携は重要だと思われまます。あなたが保育者、教育者となったときどのように家庭と連携をとっていくか、事例を挙げてあなたの考えを800字程度で述べなさい。
	健康栄養学部 健康栄養学科	令和元年度の国民健康・栄養調査で実施された「BMIの状況別(体型別)の食習慣の改善の意思」についての調査結果を下図に示した。この調査結果から考えられる課題と解決策について論じなさい(800字以上、1200字以内)

傾向 ◀ 短文型がほとんどだが、課題文読解型・資料読解型も出題された。

1 出題形式

学芸学部国文学科・化粧ファッション学科及び児童教育学部児童教育学科は「800字程度」、学芸学部心理学科・ライフプランニング学科は「800~1,000字程度」、学芸学部国際英語学科は「1,000字程度」、健康栄養学部健康栄養学科は「800~1,200字以内」という文字数である。学芸学部ライフプランニング学科は課題文読解型、健康栄養学部健康栄養学科は資料読解型、他は短文型である。学芸学部国文学科のみ2つの出題から1題選択して解答する形式である。

2 出題内容

出題されているテーマは各学科に関係した内容あるいは関

心をもつべき問題、現代社会に生じている問題が取り上げられている。そういった問題に対してどのように考えているか、また具体的にどのような事例があるかを問うなど、自身の問題意識と姿勢を問う出題が多かった。総じて、各学科の性質に沿った問題や現代の社会問題に対する関心の高さ、物事を論理的に分析し、自身の意見を適切にまとめられるかが問われていると言えるだろう。

3 難易度

制限字数的にも内容的にも難易度は高い。問題に対して原因・理由を考え、問題解決に向けた取り組み方を提案できるようにしておきたい。

対策 ◀ 短文型・課題文読解型・資料読解型の各形式に適した練習を重ねよう。

1 各形式に共通する対策

問題となっている事柄の原因・理由、知識や識者の知見、発想などを吸収し、考えを表現できるようにする。

2 短文型

まず、短文型問題の「解答例を写す」ということから始めよう。「段落」「文の順序」「語の係り受け」などを意識しながら書き写すと良い。

次に、志望学部志望学科に関連する分野の新書や新聞記事を読んで知識や識者の知見、発想を吸収する。その後で過去問に取り組み答案を作成する。できれば数年分が望ましい。「一度出題された課題は形を変えてまた出題される」と考えて取り組むと良い。

3 課題文読解型

まず新聞記事の文章を100字~200字程度で要約する。その要約内容をもとに、文章の主題や筆者の意見を正確に把握し、それらに対する自分の意見(賛成・反対など)を構築しよう。意見構築の際には、自分の意見に対する反対意見についても考えておく効果的だ。一連の流れを繰り返し練習しよう。

4 資料読解型

図やグラフの読みとり方を練習しよう。社会科(政治経済等)の資料を用いて特徴的な箇所を指摘する、その背景や原因を探ることを練習しよう。なお、数値を細かく追いかけることはしないように気をつけてほしい。

小論文の書き方、解答例

出題例

令和4年度 指定校推薦
学芸学部 心理学科

「劣等感」は、人にやる気を失わせることもあれば、反対にやる気を高めることにもつながる、と言われます。その違いを生む要因（どのようにしてその違いが生じるか）について、800～1,000字程度で述べなさい。

解答例

「劣等感」とは他者と比べて自分が劣っていると感じ、自分をよりよく見せようとしたり、失敗をして傷つくことを恐れて萎縮したりすることをもたらす強い感情であると私は考える。

自分が他者より劣っているという意識は理性的なものというよりは感情的なものであることが多い。そのため、自分を理性的に捉えるのではなく、単に他者の才能や能力、技術、容姿などを羨み、嫉妬するという形であられる。このとき感情が優先されているため、もやもやと漠然とした、しかし強烈な感情に囚われるばかりで、自分ではどうしようもないという状態であることが多い。「やる気を失わせる」というのはこうしたことが原因である。一方、きわめて感情的な劣等意識が何によるのか理性的に自分を見つめ原因を探ることが出来れば、克服することが可能になる。劣等感が「やる気を高める」というのはこのように自分を理性的に制御すること、つまり、客観的に自己を見つめることができるようになって可能になることだと私は考える。

人間の成長は自己と他者の認識の仕方に比例すると私は思う。人間は誰も誕生以来専ら自己を中心とした認識をする。成長するにしたがって自己と異なる他者を自分と区別するようになる。こうして自己と他者とを無意識的に比較し、他者に対して漠然とした感情を抱くようになる。このとき、自分とは異なる他者の容姿、才能や能力、技術などに対して羨ましいと思う気持ちが強くなり劣等感を抱くようになるのだ。初めのうちは感情が勝って劣等感に苛まれ、ともすれば、自分に絶望することもある。しかし、私たちは成長するにしたがって理性を働かせることを覚えるのだ。単に他者を羨むのではなく、他者のどのようなところに羨ましいと思う原因が隠れているのか、自分という存在にとってそれがどのような意味を持つのか、など自分という存在をめぐって客観的に見つめることが出来るようになるのだ。こうなる、劣等感の原因である事柄を冷静に見つめることができ、その原因に無暗に苛まれるということから逃れられるようになる。

劣等感が人にやる気を失わせるか、それともやる気を高めるかの分岐点には「理性的に自己を客観視できるかどうか」が関わっていると私は考える。感情が勝っているときは漠然としているが強烈な感情にやる気を失い、理性的に自己を客観視できれば劣等感の原因である事柄を克服しようとやる気を高められるのである。

学習法 【小論文の基礎を学ぼう！】

1 小論文とは何か

制限時間の中で特定の設問に対して文章で解答する。設問に対して的確に答えることが求められる。主観性が強い「作文」に対して「小論文」は論理性、客観性が強くなる。

2 小論文の課題の種類

①短文体

「○○についてあなたの考えを述べなさい」など比較的短い語句や文でテーマを示し、それについて答えさせる。

②課題文読解型

一定の分量の文章を読ませ、その内容や文章の一部について考えを答えさせる。「小論文」の代表的な出題形式である。

③資料読解型

図やグラフを提示し、そこから読み取れる事柄について答えさせる。文章と違って図やグラフの読み取りを練習する必要がある。

3 小論文の5つのポイント

次の5点に気をつけよう。①原稿用紙の使い方。②正しい日本語。③読みやすい文字。④各課題における条件を満たすこと。⑤主観と客観のバランス。

4 表現の14か条

①書き出し、段落の初めは一マス空ける。②「」、『』を正しく使う。③数字、英語、略語、カタカナを正しく書く。④話し言葉、流行語、略語を使わない。⑤漢字、熟語を正しく書く。⑥常体、敬体をどちらかに統一する。⑦体言止め（名詞止め）・比喩など表現技法の使用には注意する。⑧形式段落を設定する。⑨主語と述語、修飾語と被修飾語を正しく対応させる。⑩「～て、～に、～を、～へ」などの助詞を正しく使う。⑪読点（、）を使いすぎない。⑫接続語、指示語を適切に使う。⑬身近な具体例を加える。⑭感情的な表現を避ける。

学習法 【小論文の対策を練ろう！】

1 自分の志望学部学科に合わせた知識を吸収する

志望学部学科に関係する本を読んでみる。新聞やニュースでも良い。気になるところ、理解できそうなところ、興味をもてそうなところを読み、メモを取る。その後メモを見て知識を整理しておこう。国文学科は一冊をしっかりと読み主題を明確にしておくとうい。

2 小論文の解答例を書き写す

まずは、声に出して表現や考え方、話の進め方を意識して一字一句をそのまま書き写す。次に、思い出しながら書いてみる。解答例を見ながらでもよい。大体の話、内容、話の進め方がわかってきたら、何も見ないで自分なりに書いて見る。こうして自分なりの文章が書けるようになる。

3 志望学部学科に即した形式、テーマの問題を解く

初めは時間を気にせず、構成を念頭に置いて書き答案を先生に添削してもらおう。添削された事柄を意識してもう一度書く。これを繰り返し、慣れてきたら制限時間を設定して書く。徐々に制限時間内で書けるようになるので、頑張ってください。